

シリーズ
 セーフコミュニティ認証取得への道 No.16

セーフコミュニティ活動報告 外傷調査評価委員会活動報告

医療機関での外傷アンケート調査にご協力を

☆診療所などの医療機関で 外傷発生動向調査を実施

市では、データに基づいた根拠ある取り組みを進めるため、外傷調査評価（サーベイランス）委員会を設置し、外傷にかかる統計情報の収集や市民アンケート調査を実施して、松原市の『地域診断』を行い、課題の抽出を行っています。

委員会の中でも、医療機関からのデータ収集は課題として挙がっていました。この度、松原市医師会の協力により、松原市医師会に所属す

理解いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。なお、ご記入いただいた調査票に関して、改めてお問い合わせをしたり追加調査を行うことは絶対にありません。

☆医療機関からのデータ 収集が日本の課題

セーフコミュニティ活動の特徴の一つに、『データに基づいた根拠ある取り組みを実施していること』というものがあります。これは、やみくもに取り組みを行うのではなく、行政が把握する統計データや救急搬送などの外傷にかかるデータを分析し、対象を絞った取り組みが必要だという事です。

これらのデータの中で、外傷にかかるデータについては、医療機関が保有するデータがもっとも有効であると考えられ、韓国やヨーロッパなどの一部の国では、国の方針のもと、医療機関から各自治体にデータが提供されています。しかし、日本では、医療機関から外傷にかかるデータの提供は行われておらず、日本のセーフコミュニティ活動の課題の一つとなっています。また、実際にアンケートなどを実施したとしても、ただでさえ忙しい医療機関にさらなる負担が増すことになり、多くの自治体で継続的なデータ収集には結びついていないのが現状です。

☆8月1日～2日に いよいよ本審査を迎えます

2年間の取り組みの集大成として認証申請書を取りまとめ提出したことを前月号の広報まつばらでご紹介しました。そして、来月8月1日(休)～2日(金)にかけて、海外より認証審査員をお招きし、現地審査を受けることになりました。

現地審査では、松原市のセーフコミュニティ活動について紹介するとともに、各対策委員会が日ごろの活動や、昨年10月に受けた事前審査で指摘された項目についてどのように改善してきたのか認証審査員に報告し、セーフコミュニティ認証都市としての基準を満たしているのか審査されることになります。

現地審査の詳細については、広報まつばら9月号でお知らせします。

外傷発生動向調査票への 記入にご協力を

調査票でお聞きする内容

- ①年齢 ②性別 ③けがをした際の飲酒の有無 ④医療機関までの交通手段 ⑤お住まいの地区名 ⑥けがをした地区名 ⑦けがをした場所 ⑧けがをした日時 ⑨けがをした時の行動 ⑩けがをした原因

▶ 昨年行われた事前審査の様子

